

排気系に手を加えたら 次は当然吸気系チューン!!

ロードスターオーナーにとって、タコ足とマフラーの交換はもはや常識。問題になるのは、次にどこをどうチューニングするかでこと。もうひとつ上の吸気系チューニングに目を向けてみようじゃないか。

●4連装着の手順

キット販売されているからスポーツインジェクションの装着は思ったよりも簡単で、自分でやれないこともない。それより、ノーマルを取り戻す方がよっぽど面倒なのだ。



4 次はインジェクター。まず真空ラインを抜くのだが、その前に給油口を開けておく。インジェクターのスターを外す際は、プラスチックのスパークを触らないように注意!



3 そうしたら、いよいよノーマルスロットルとお別れだ。まず、アクセルワイヤーのスターを外し、ワイヤーを抜く。スロットルはボルト一本で固定されているのでこれを外せばOK。



2 お次は、ホース類の取り外し。注力センサーと、アイドルアップ用のウォーターホースを取り出す。このときにホースから油が出てくる場合があるが、これは問題ない。



1 交換作業を始める前に、バネローラーを調整し、それからボンネットを開き、エンジンルームのエアクリタームエアダクトを取り外す。



8 スロットルが固定できたら、付属のレギュレーターを取り付ける。あとは、フェューエルホースやローパイプ。そのほかの配線、配管を訂正すれば完成。見た目にもチューンドカーっぽくなるでしょ。



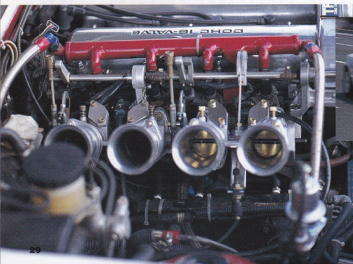
7 ここで初めての通が登場。ガストケットを入れてインマニ。そしてスロットルを回していく。このときにバルブヘッドよりのファンネルを外しておかないと、マスタシリンダーが邪魔で入らない。



6 取り付けは、まず燃料タンクから、ノーマルのワイヤータンクのスターに固定タンクを取り付け、タラップスターなどのホースをつないでやもれ、セレーターへつなぐホースは速い。



5 最後に取り外すのがインマニ。インマニを抜くときに、Oリングを傷つけないように注意。抜いてOリングを傷つけないように注意。抜いてOリングを傷つけないように注意。抜いてOリングを傷つけないように注意。



チューンという状態を常に維持するのは、実は結構大変。よく知っていていい。調子がいいからといって、ガソリンという量も同じく大変だ。